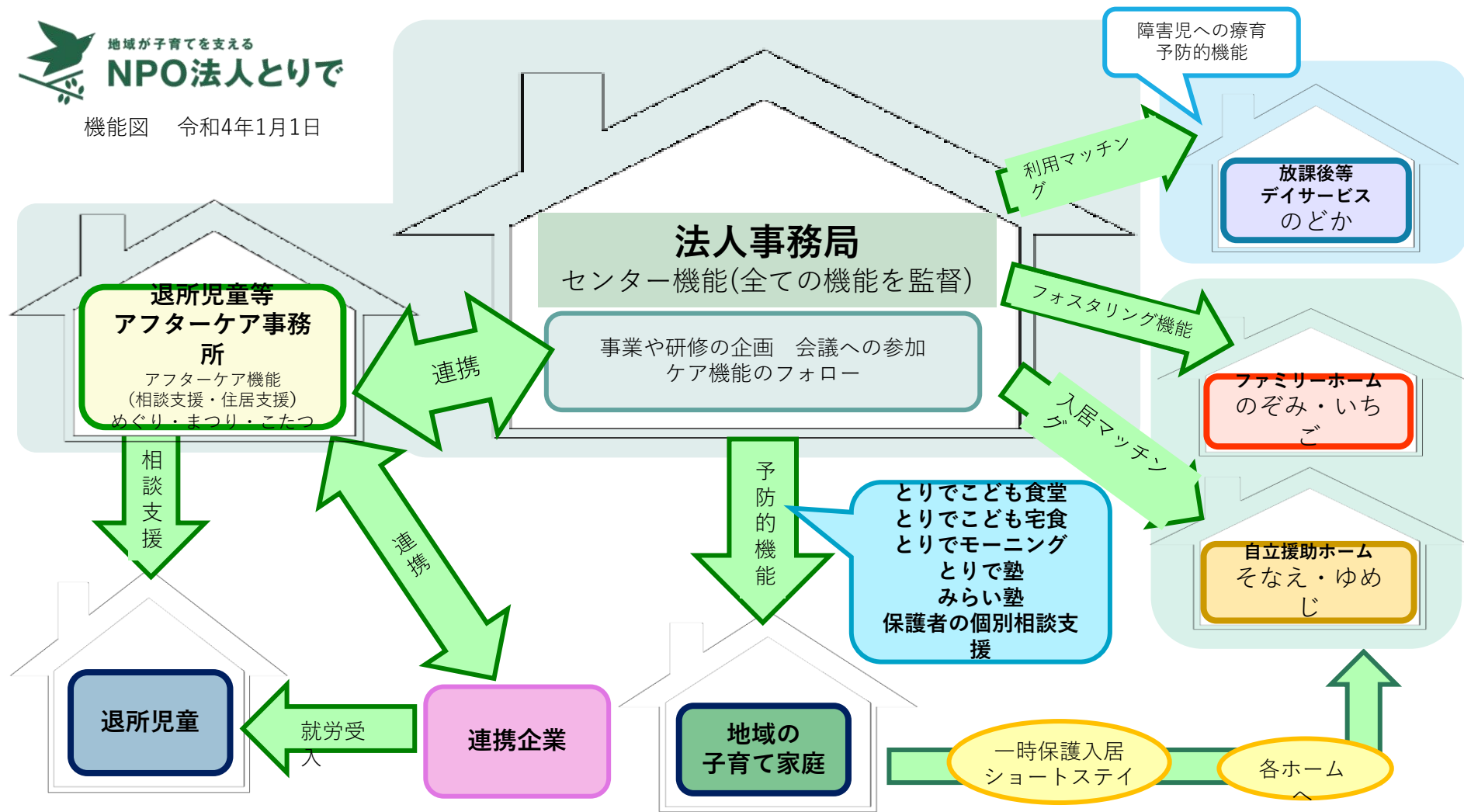


(認定NPO法人とりで)



当団体の活動概要

「地域が子育てを支える」を理念に、虐待を受けた子どもを預かり支援する自立援助ホーム、ファミリーホームの運営や、地域の子供たちを対象に無料の食事支援、学習支援を通じて子ども虐待の予防と保護を行っています。



活動を始めた動機

- ・ 児童養護施設で8年間、児童家庭支援センターで約2年間勤務（社会福祉法人で雇用される）
- ・ 虐待などが理由で施設や里親家庭で暮らす子どもたちの支援と、地域で暮らす子どもたち、その保護者の支援、その両輪をしてこそ虐待防止なんだと整理した。

活動を始めた動機

- ・ 既存の組織では時間がかかる、新たな法人を作り早く取り組もう！

→NPO法人とりで設立！

私たちの使命

「地域が子育てを支える」（理念）ことにより

①子どもの貧困対策に取り組む

②子どもの虐待を防ぐ

自立援助ホーム

- 自立援助ホーム「そなえ」（女子6名定員）
- 定員6名、15歳から19歳の女子対象
- 現在5名入居（令和3年10月1日時点）
- 入居理由：虐待、非行など
- 児童養護施設等を退所、あるいはいられなくなった子ども（高校に進学しない、高校を中途退学）
- 家庭でも生活ができない（主に虐待などの理由）
- 学籍がない子がほとんどなので、アルバイトなどをして過ごし、貯金をしたのち、正規雇用や一人暮らしなどを決め、退所する
- 自立援助ホーム「ゆめじ」
- （平成30年4月1日に広島県大竹市に開所：男子6名定員）
- 現在4名入居（令和3年10月1日時点）

自立援助ホーム

- 子どもたちの体験の場として
- メイク講座（資生堂）
- 携帯電話使い方講座（au）
- 調理（希望すればホームで毎日できる）



自立援助ホーム

- 性教育（岩国市ほっと1）
- 地区行事参加
- ホーム外出



ファミリーホーム

- ・ファミリーホーム「のぞみ」（平成31年4月1日に広島県大竹市に開所：男女6名定員）（広島県内に4か所目）
- ・定員6名、2歳から18歳の男女対象
- ・入居理由：主に虐待など
- ・家庭養護と言い、養育者が1名ホームに住む養育形態であり、職員は養育者の他、補助者が2名いる。家庭に限りなく近い養育形態である。
- ・子ども達はホームから地域の幼稚園や学校へ通い、家賃は不要である。

- ・ファミリーホーム「いちご」（令和2年11月1日に広島県大竹市に開所：男女6名定員）（広島県内に5か所目）



とりで塾

- ・小学生から高校生まで誰でも参加OK、無料で、申し込みも不要
- ・平成28年度5月より開始、令和2年度は57回実施（うち訪問型20回）、のべ762名の子どもが利用した。
- ・岩国市内2ヵ所で開催
- ・小学生から高校生まで参加、校区外からの参加もある
- ・夜間となるため、親の送迎や近所の子ども同士が乗り合わせの車により参加
- ・希望する子どもは家庭訪問し、個別に学習支援を行い、（訪問型）より子どもたちの家庭の様子が分かる。

とりで塾



とりでこども食堂

・小学生から高校生まで誰でも参加OK、無料で、申し込みも不要

・平成28年度6月より開始、令和2年度からは岩国市内2ヵ所と広島県大竹市1ヵ所で37回実施、のべ1141名の子ども、その保護者等が利用した。

・令和元年度からは広島県大竹市でも1か所開設。

- ・未就学から高校生まで参加、校区外からの参加もある
- ・昼間となるため、親の送迎だけでなく、部活帰りの中学生、サッカーなど習いごとの帰りに子どもだけで寄ることがある。
- ・親も一緒に過ごし、子どもたちと、調理をするなど家庭とは違った時間を過ごす
- ・親同士がそこでつながり、子育てに関する悩みを共有する

とりでこども食堂

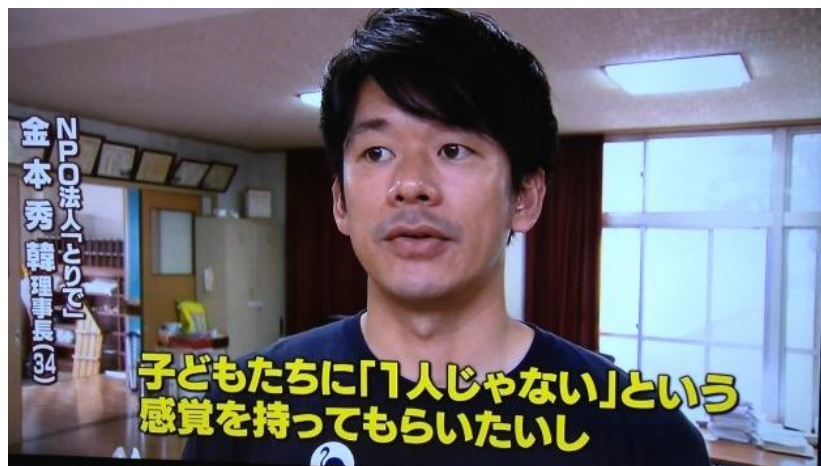


2022年7月11日 県外プロボノワー
カー受入団体審査会

とりでモーニング

- ・小学生から高校生まで誰でも参加OK、無料で、申し込みも不要
- ・平成29年の4月より開始、令和2年度は岩国市内2ヵ所で39回実施、のべ906名の子どもが利用した。
- ・小学生から高校生まで利用
- ・登校前に子ども達が寄り、朝食を食べそのまま一緒に登校していく（子ども会がない地域の為、集団登校していない）
- ・子どもだけで寄ることができ、看板に気付いた子どもたちが自然と集まることもある

とりでモーニング



2022年7月11日 県外プロボノワー
カー受入団体審査会

2017年9月20日（水） tys取材・放送 15

とりでこども宅食

- ・小学生から高校生まで誰でも無料で、申し込みも不要
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして令和2年3月より活動開始
- ・小学生から高校生まで利用
- ・家庭訪問して飲食店で購入した弁当を届ける
- ・家庭の様子が分かる、会えなかった子どもや保護者と会う気かけとなる
- ・令和2年度は岩国市と大竹市の3カ所で取組、37回実施し、子どもと保護者合わせて1622食届けた。

とりでこども宅食



2020年5月2日TYS（木）取材・放送

2020年3月13日毎日新聞（木）取材

「こども宅食」で朝食

岩国のNPOが開始
新型コロナ 臨時休校で

「働いているので助かる」

とりでのスタッフ（左）から朝食セットの袋を受け取る家族

岩国市などで「こども宅食」の運営や朝食の提供をしている市内のNPO法人とりで（金本秀輔理事長）は12日、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校で、自宅で過ごす児童や生徒に無料の朝食を届ける「こども宅食」を始めた。とりでは、感染拡大の懸念があるため、こども食堂や朝食の提供を3月中は中止した。代わりに、朝食提供を利用していた児童らから希望を募って、宅配を始めた。

この日は、市立平田小中学校区の12世帯32人の小学年・高校生などのリクエストを受け、パンやヨーグルトなどのセットを、理事の西本勢津子さんが10人スタッフ2人が「少し遅めの朝食に」と午前9時から1軒ずつ回って手渡した。

平田中1年、小野 楓さん(13)はメロンパンなどを受け取り「朝勉強して昼はのんびり過ごす」。また、平田小6年、岡崎 汐登さん(12)と4年、七海さん(10)の母、政美さん(45)は「私がパートで朝から働いているので、助かる」と喜んだ。「玉置亮(17)

社会体験 調理体験



キャンプ



音楽体験



パソコン教室（アイエムシンクタンク様との協働）



放課後等デイサービス

- ・ 放課後等デイサービス「のどか」（平成31年4月1日に玖珂郡和木町に開所）：利用定員10名定員：障害のある子どもが対象）
- ・ 事業目的：学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第一条に規定する学校（幼稚園及び大学を除く。）に就学している障害の児童若しくは生徒又は休業日に施設に通わせ、生活能力の向上を図るため、必要十分な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与します。
- ・ 様々な課題に取り組み、できることを増やす。
- ・ 子どもに応じた学習支援を行う。
- ・ 特性のある子ども達に対し、視覚支援を行うなど配慮した時間をやサービスを提供する。
- ・ 放課後の養育、学校から家庭まで送迎をすることで保護者の養育負担の軽減を図る。

放課後等デイサービス



余暇活動



退所児童等アフターケア事業

- 平成28年度より取組
- 児童養護施設や自立援助ホーム、里親家庭などを退所した子どもたちに対し、相談援助、同行支援、就労支援を行う
- フットサル、ソフトバレーなどグループワークを通して居場所づくりを行う
- 令和2年度実績 621件



退所児童等アフターケア事業

2020年6月8日（月）TYS 取材・放送



(25) 地域 山◇ 2020年(令和2年)6月17日(水曜日) 中 国

施設を巣立った若者の自立支援 岩国のNPOが事務所

児童養護施設などを巣立った若者の自立を支援する「めぐり」が岩国市内のアパートの一室にオープンした。同市のNPO法人「とりで」が運営。同法人の職員が就職や生活の相談に乗る。若者が気軽に集える居場所づくりを目指す。事務所には相談室や台所、生活困難の若者が短期入居できる部屋がある。同法人のソーシャルワーカー中嶋幸さん36が住居契約や公的機関での手続きなどをサポートする。

同法人は同市や大竹市で自立援助ホームや子ども食堂を開いている。2016年の設立当初から支援事業にも取り組む。面会や電話連絡のほか、スポットイベントや食事を企画し、交流を続けている。

児童養護施設は18歳になると退所するのが原則。県内10施設には18年度末現在、378人が入所する。巣立ったのは14年度からの5年で計507人。同法人によると、退所後に助けを求められないまま貧困や孤立などに陥ってしまうケースもあるという。

県内の児童養護施設を出た後、同法人の支援で建設会社に就職した男性26は「もし仕事などで気があいてしまった時に、立ち寄れる所ができて心強い」と話す。中嶋さんは「顔を見て話すと変化に気づけるので、気軽に来てもらえれば」と呼び掛ける。訪問には事前連絡が必要。中嶋さん 070-3781-5972。(鐘尾佳子)

山口総合

めぐりのダイニングで児童養護施設出身者（手前の2人）から近況を聞く中嶋さん

2020年6月17日（水）中国新聞 取材

(団体名を記載)

解決したい課題

求める人材

【短期的な課題】

地域活動を担う人材（職員、ボランティア）

確保のための仕掛けサイト作成（既存のHP外、ランディングページ）

【長期的な課題】

事業費（寄附、助成金）の獲得・・・細かな様式の申請書の作成サポート

広報紙の内容についてのアドバイスやデザイン

・当団体の課題整理のために一緒にブレインストーミング（ワークショップ）して下さる方

・全国（世界）的見地から事例紹介して下さる方

・児童福祉に関心、興味のある方

・HPや広報誌の作成などに興味のある方

活動の進め方	<ul style="list-style-type: none">・リモートでの支援を基本とします。・役割分担例（どのような役割が想定されるか） 広報担当、HP等制作物担当等・進め方 プロボノワーカチーム内で役割分担を行い、課題ヒアリングをしていただいた上、プロジェクトを主体的に進めてほしい。
希望の活動日時	プロボノの方に合わせます。
支援受入の希望頻度	少なくとも月1回のWeb会議を実施させていただきたいです。
現地訪問	訪問歓迎です。日時は事前相談必要。
成果物の想定	HP作成、広報誌作成